

みずほCustomer Desk Report 2025/11/13 号(As of 2025/11/12)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	154.31
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	154.07	1.1586	178.49	1.3150	0.6529
SYD-NY High	155.05	1.1597	179.44	1.3156	0.6550
SYD-NY Low	154.06	1.1563	178.49	1.3085	0.6516
NY 5:00 PM	154.81	1.1592	179.38	1.3132	0.6541
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	48,254.82	326.86	日本2年債	0.9300%	0.0000%
NASDAQ	23,406.46	▲ 61.84	日本10年債	1.6900%	0.0000%
S&P	6,850.92	4.31	米国2年債	3.5649%	▲0.0291%
日経平均	51,063.31	220.38	米国5年債	3.6656%	▲0.0521%
TOPIX	3,359.33	37.75	米国10年債	4.0645%	▲0.0564%
シカゴ日経先物	51,225.00	135.00	独10年債	2.6455%	▲0.0108%
ロンドンFT	9,911.42	11.82	英10年債	4.3970%	0.0115%
DAX	24,381.46	293.40	豪10年債	4.3770%	▲0.0130%
ハンセン指数	26,922.73	226.32	USDJPY 1M Vol	8.66%	0.36%
上海総合	4,000.14	▲ 2.62	USDJPY 3M Vol	8.94%	0.23%
NY金	4,213.60	97.30	USDJPY 6M Vol	9.15%	0.20%
WTI	58.49	▲ 2.55	USDJPY 1M 25RR	▲0.72%	Yen Call Over
CRB指数	302.66	▲ 4.39	EURJPY 3M Vol	7.63%	0.21%
ドルインデックス	99.46	0.20	EURJPY 6M Vol	8.02%	0.09%

東京	東京時間のドル円は154.07レベルでオープン。特段目立った材料はなかったものの、円売りが進行。直近抵抗線となっていた154.50の節目を抜けると154.79まで上伸した。その後、片山財務大臣の円安牽制発言を受け上げ幅を縮小する場面もあったが、牽制トーンが従来と変わらないことも相俟って底堅い地合いは継続した。結局154.67レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は154.67レベルでオープン。高市首相は日銀との協力を続けると強調も市場の反応は限定的で、その後は特段と材料が無い中でじり高に推移し154.82レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は閉鎖が続いている米政府機関が近くに再開する可能性が高いとの見方を受け、米株高等の展開を背景に円売りが優勢となり、155.04レベルまで上昇する底堅い推移。しかし、その後は失速し、154.60付近まで反落。午後は下げ渋り、その後154.81でクロス。一方、ユーロドルは米金利の低下に伴ったドル売りを背景に1.1598まで上昇する。午後は伸び悩み、1.1592でクロスした。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月12日	12:25	米 バーFRB理事 講演	AIは経済と社会を根本的に改善する力を秘めている。	
	23:20	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	FEDは市場の流動性供給の為に債券の買い入れを行うだろう。	

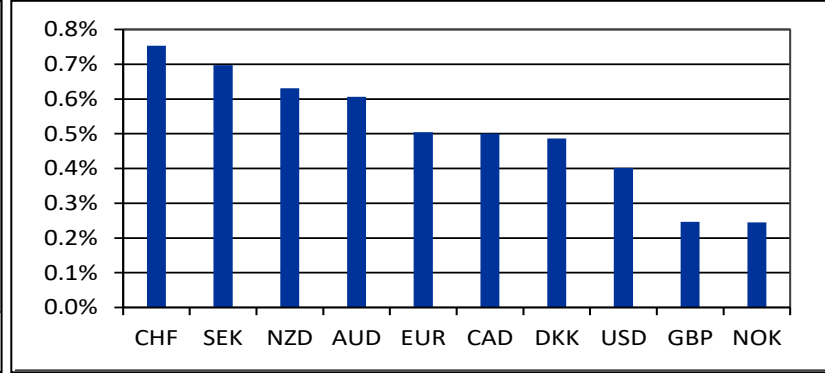
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
	09:30	豪 失業率	10月 4.4%	4.5%
	16:00	英 GDP(前期比)・速報	3Q 0.2%	0.3%
	16:00	英 GDP(前年比)・速報	3Q P 1.4%	1.4%
	19:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	9月 0.7%	-1.2%
	22:00	米 デイリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	8-Nov 225k	-
	22:30	米 CPI(前月比)	10月 0.2%	0.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	154.00-155.50	1.1550-1.1650	178.50-180.00

【マーケット・インプレッション】

本日のドル円相場は引き続き底堅い推移を予想。昨日は米政府閉鎖解除への期待感、本邦政府サイドからの早期利上げをけん制する動きを背景に、9カ月ぶりの円安水準である155円台を付けた。片山財務相からの円安けん制もあったが、市場は高市政権の動向が優勢との受け止めで円買い圧力は限定的となっている。一方、米国サイドでは10月の雇用統計とCPIが公表されない可能性が高いと報道された。米12月利下げを前にデータが欠損する可能性があり、政府閉鎖解除が目前となる中でも不透明感が熾り続けている。155円近辺で揉み合いながら、底堅い値動きとなるのではないかと。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。